

単元名

呉の仕事 ～キャリアスタートウィーク～ 令和4年10月5日(水) 5校時

8年2組(男子18名 女子17名 計35名)

学園で育成を目指す資質・能力

知識・技能, 思考力, 表現力, 主体性

本質的な問い よりよい未来をつくるために、わたしたちは地域とどう関わり、どう生きるのか。

1 単元について

【単元観】

本単元は、呉市の事業所への職業体験を通じて、生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる「基礎的・汎用的能力」や態度を身に付けることができるよう設定されたものである。同時に呉市で働く人の思いや願いに気付き、地域の一員として自らも呉市に貢献しようとする態度を身に付けることを目標としている。

本単元では、まず7年生での自己分析をもとに自らの課題を整理し、CSWでの目標を設定する。目標達成のための行動イメージの作成の後、実際の「働く」体験に取り組む。体験日誌を用いて1日ごとに行動の振り返りを行いながら、新たな課題の発見や達成度を繰り返し確認することで、自己向上力の育成につながると考えている。また、学びをまとめていく作業を通して、CSWでの事業所の方の思いや「与えられる」ばかりである自分たちの姿に気づき、事業所の方、そして地域に貢献しようとする態度の育成につなげたい。

今回の「CSW」を好機に、自立した大人としての一歩を歩むとともに、呉市と事業所のつながりを捉え、自分たちの生まれ育った呉市への愛着を深め、両者の未来と自らの未来を重ね合わせて生徒が考えるようになる機会としたい。

【生徒観】

本学級の生徒は、7年生時に自分の将来に向けての道筋を具体的にイメージする活動に取り組んでおり、多くの生徒が夢や目標を持ち、努力していこうとするようになった。今年度は「働く意味」や「働く上で必要な力」等について学び、そして前単元において実際に働く人の中での体験活動に取り組んだ。その結果、生徒自身の「働くこと」のイメージが深化し、自らの将来をより一層考えようとする機会となったようである。

アンケートによる調査では「グループで協力して問題を解決することが得意である」という問いに肯定的に答えた生徒は約70%であった(R4.7月)。個人で思考するよりもグループで課題に取り組むことで考えが深まっていく場面が他教科の授業においてもよく見られる。一方で、自分中心の考えに固執してしまい、他者の立場で考えることが難しい生徒も見られる。

コロナ禍が続く中で、様々な行事が中止、制限が加えられ、生徒は他者と協働して活動したり、他学年と交流したりする経験が少ない。そのため、生徒たちの中で地域とのつながりが希薄となっている。

2 研究主題に迫る手立て【指導観】

(1) 課題設定の工夫

- 呉市の事業所への職業体験活動に向けて、事前に「働く上で必要な力」や「体験活動で学ぶべきこと」を思考・整理し、自らの課題を捉えさせる。
- 自らの住む呉市と事業所のつながりを踏まえ、今の自分が地域へ貢献できることを考えさせることで、呉市の一員としての自覚を高めさせる。

(2) 思考過程の工夫

- ICTや思考ツールを活用しながら、自分の考えを整理・分析したり、互いの考えを共有したりしながら深めさせる。
- 生徒が互いに質問したり、アドバイスをし合ったりすることで個人に課題解決の新たな視点を加える。

(3) 思考の記述や振り返りの工夫

- CSW前に「働く」ことについての情報を整理・分析し、CSW後に「学びの成果」を新聞形式で整理し、比較、分析させる。

3 単元の目標

- CSW における活動を通して、自分の夢や目標に向けて、協働して課題解決に取り組む姿勢を身に付け、地域の一員としての自覚を持って活動することができる。

4 目指す具体の姿

- 「働く上で必要な力」をタブレットや新聞にまとめることで「働くこと」に関する知識を身に付けることができる。【知識・技能】
- 様々な情報を基に、自らの課題を見つけ、解決のために自分が今すべきことを考えることができる。【思考力】
- CSW での体験をもとに地域における事業所の価値を踏まえ、地域貢献のために自分たちにできることを考えることができる。【思考力】
- 働くことについて、自らの考えや学びを根拠とともに分かりやすく表現することができる。【表現力】
- 自分の夢や目標の実現のため、すすんで行動している。【主体性】

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識・技能	思考力	表現力	主体性
① 「働く上で必要な力」をタブレットや新聞にまとめることで「働くこと」に関する知識を身に付けることができる。	① 様々な情報を基に、自らの課題を見つけ、解決のために自分が今すべきことを考えることができる。 ② CSW での体験をもとに地域における事業所の価値を踏まえ、地域貢献のために自分たちにできることを考えることができる。 ③ 働くことについて、自らの考えや学びを根拠とともに分かりやすく表現することができる。		① 自分の夢や目標の実現のため、すすんで行動している。

6 指導計画（全70時間）

単元を貫く問い

地域の一員として、自分はどんな人になればいいんだろう。

【探究課題 地域のためにできること 】

月	探究の過程	主な学習活動（・）と教師の支援（★）	時数	評価規準（評価方法）	教科等との関連
一次 CSW に向けて準備しよう （15）					
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>個別の問い</p> <p>CSWで身に付けたい力は何だろう。</p> </div>					

4	課題の設定	・7年生の自己分析での強みや弱みを振り返り、自己認識の確認を行う。	1		
5					
6		・呉市のCSWでの体験活動にあたって、各自が自らのテーマを見つけることの大切さを知る。	1	・「働く上で必要な力」をタブレットや新聞にまとめることで「働くこと」に関する知識を身に付けることができる。【知技①】	
7		追及課題を決めよう！			
	情報の収集	・先輩の姿や保護者へのインタビューからCSWの意義を考える。 ・相手や場に応じた気持ちの良い言葉使いや接遇についての知識を深める。 ★呉阪急ホテルより講師の方を招いて指導していただく。	2 5	(行動観察・発言・ワークシート・ロイロノート)	国語科 「敬語」
	整理・分析	・身に付けたい力の優先順位を整理し、追及課題を決定する。 ・追及課題の達成のためにどう取り組むべきかを具体化する。	1 1	・様々な情報を基に、自らの課題を見つけ、解決のために自分が今すべきことを考えることができる。【思判表①】 (行動観察・ロイロノート・決意書)	道徳C-(13)「勤労」
	まとめ・表現	・自らの追及課題をクラスで発表する。 ・決意書を作成し、事業所の方に見ていただく。	1 2		
	新たな課題の設定	・実際に働くことを体験した時には様々な発見があること、そしてそれを整理する必要があることに気付く。	1		

二次 呉で実際に働こう (31)

個別の問い

働く上では何が大切なのだろうか。

8	課題の設定	・新聞形式でCSWでの体験活動をまとめることを確認する。	1		
9		CSWでの学びを新聞にまとめよう！			
	情報の収集	・新聞作りに向けて基礎知識を身に付ける。 ★中国新聞社より講師の方を招いて指導していただく。 ・各事業所で体験活動を行う。 ★3日間、体験の感想を記述して、自分の思いを深めるようにする。	1 18	・自分の夢や目標の実現のため、すすんで行動している。【主①】 (行動観察・事業所アンケート・体験日誌)	
	整理・分析	・職場へのお礼状作成 ★国語で学習したお礼状の書き方を参考に、自分の体験や思いに基づいたお礼状を書かせる。 ・新聞に「学びの成果」をまとめる。 ★事前の「テーマ」への成果や自分「ならでは」	2 6	・「働く上で必要な力」をタブレットや新聞にまとめることで「働くこと」に関する知識を身に付けることが	国語科 「依頼状やお礼状を書こう」

	<p>の学んだ成果をワークシートで整理してから取り組ませる。</p> <p>まとめ・表現</p> <p>新たな課題の設定</p>	<p>・学年で学習成果の発表を行う。</p> <p>・自分たちがCSWで「〇〇を与えてもらう」だけであったことに気付く。「双方向での貢献」のためにできることを考える。【本時】</p>	<p>2</p> <p>1</p>	<p>できる。【知技①】 (行動観察・ワークシート・新聞)</p> <p>・働くことについて、自らの考えや学びを根拠とともに分かりやすく表現することができる。【思判表③】 (発言・新聞)</p>	
--	--	---	-------------------	---	--

三次 CSW の恩返しをしよう (2 4)

個別の問い

事業所へ私たちが返せるものはどんなことがあるだろうか。

10					
11	課題の設定	<p>・グループごとに広義の「地域への貢献」内容を決める。</p> <p>★実現が可能なものを選択できるよう、適宜指導する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>CSW での恩返しに何ができるか考えよう！</p> </div>	2	<p>・CSW での体験をもとに地域における事業所の価値を踏まえ、地域貢献のために自分たちにできることを考えることができる。【思判表②】 (発言・ロイロノート)</p>	社会科 「身近な地域調査」
12	情報の収集	<p>・課題達成のために情報収集のための役割分担と計画を作る。</p> <p>★企画案の例をもとに作成させる。</p> <p>・企画案の検討会を行い、修正をする。</p> <p>★図書館の本やタブレットなど多様な情報収集のアプローチを行わせる。</p>	2	<p>・自分の夢や目標の実現のため、すすんで行動している。【主①】 (行動観察・発言・ロイロノート)</p>	社会 「私たちの生活と現代社会」
1		<p>・企画書をもとに各事業所への取組への了承をもらう。</p>	1	<p>・働くことについて、自らの考えや学びを根拠とともに分かりやすく表現することができる。【思判表③】 (発言・ロイロノート・プレゼンテーション)</p>	道徳 C-(16)「郷土愛」
2		<p>・グループごとに取組を行う。</p> <p>★毎時間ごとの進捗状況や変更・修正事項は常に報告させる。</p> <p>★「誰にとって」「どんなこと」「どのような方法」で発信していくことが、より効果的なものとなるかについて繰り返し考え、工夫し、協働する。</p>	8		
3	整理・分析				
	まとめ・表現	<p>・取組成果を事業所の方や保護者、7年生に伝えるための1年間の総振り返りのプレゼンテーションを準備する。</p>	2	<p>・様々な情報を基に、自らの課題を見つけ、解決のために自分が今すべきことを考えることができる。</p>	国語科

	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに招待した方々へプレゼンテーションを行う。 ・振り返りを行う。 	1	【思判表①】 (行動観察・ロイロノート・ワークシート)	「説得力のある提案をしよう。プレゼンテーション」
--	---	---	---------------------------------------	--------------------------

7 本時の展開

(1) 本時の目標 育成を目指す資質・能力【思考力】【表現力】

- ・ CSW でお世話になった事業所に恩返しをするために、自分たちの地域、生活との結びつきを踏まえ、自分たちにできることを考えることができる。

(2) 学習展開

学習活動	・予想される児童生徒の反応 (行動・発言内容等)	○指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
【課題設定】 1 前時の活動を振り返る。(5分) 2 事業所の方の対応を想起する。(3分) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">なぜ CSW を受け入れてくださったのかな。</div> 3 本時のめあてを確認する。(2分) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">事業所へ私たちが返せるものはどんなことがあるだろうか。</div>	<input type="checkbox"/> 優しく教えてくれた。 <input type="checkbox"/> 失敗してもフォローしてくれた。 ☆自分たちを成長させてくれるため。 ☆地域貢献のため。	○CSW での写真や作成した新聞を提示し、これまでの活動を振り返ることで、本時の学習意欲を高める。 ○学びの機会をいただけたこと、忙しい中対応して下さったことに感謝の気持ちを持つ。 ○図を提示し、現状は自分たちが受け取るばかりであることを確認する。	
めあて 事業所に返せるものとして、自分たちにできることを考えよう。			
【整理・分析】 4 各事業所の視点に立ち、どんなお返しが良いかを考える。(8分) 5 くらげチャートを用いてお返しに適した方法を考え、	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に商品を購入する。 ・事業所を利用する。 ・感謝の気持ちを伝える。 ・自分たちで宣伝する。 <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作り。 ・SNS で紹介する。 ・ポスターを作り、呉市中に 	○自己満足のものにならないよう、例を用いて「事業所が求めるもの」に目を向けさせる。 ○どの事業所も自分たちの生活に深く関わっていることを押さえておく。 ○自分たちに可能な方法かを検討させる。	CSW での体験をもとに地域における事業所の価値を踏まえ、地域貢献のために自分たちで

<p>整理する。【ロイロ】 (10分) 6 グループで質問やアドバイスをし合い、それぞれのアイデアについて話し合う。【ロイロ】 (15分) ※2分×6人</p> <p>それは本当にできること? もっと良い方法はないのかな。</p>	<p>貼らせてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いいね! 自分も〇〇にしてみようかな。 ・これも良いけど〇〇はどう? ・〇〇ってできるのかな? 	<p>○「グループ全員が「各々の事業所へのお返し」が見いだせるような話し合いを促す。</p>	<p>きることを考えることができる。【思判表②】 (発言・ロイロノート)</p>
<p>探究的な見方・考え方を働かせる学習過程の工夫 ←総合 【比較する, 関連付ける, 意見交流する】 他者からの意見を参考にしながら, 事業所が求めるものと自分たちにできることの情報整理し, 関連付けることで, どのような事業所へのお返しが可能かを考えさせる。</p>			
<p>【まとめ・振り返り】 7 本時のまとめを行う。(5分)</p>		<p>○まとめ方の型を提示する。 【〇〇】が(を)【□□□】ために【☆☆☆】する。</p>	
<p>生徒のまとめ例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇を宣伝するために「良さ」をまとめたパンフレットを作り, 呉市内に配る。 ・〇〇が呉市になくてはならない存在だと知ってもらうために, ポスターを作ってまずは校内に貼ってみる。 			
<p>8 本時を振り返り, 次時につなげる。 (2分)</p>		<p>○同じ事業所のグループで最適な方法について考えていくことを伝える。</p>	

8 板書計画

④ 事業所に返せるものとして, 自分たちにできることを考えよう。

考 事業所へ返せるもの

- ・感謝の気持ちを伝える→お礼状 ⑤
- ・事業所視点
喜ぶこと・・・事業所にとってプラスになること
警察 どれだけ大切な仕事を多くの人に知ってもらうこと?
販売店 お客様がたくさん来ること?
⇒どの事業所も呉市になくてはならない!
呉市にいて良かった,
CSWを受け入れて良かったと思ってもらえるように!

条件: 自分たちにできること

⑥ 自分の考える地域貢献のためにできることは何だろうか。